

## 2019年3月期第2四半期 決算説明会 質疑応答の要旨

この質疑応答集は、11月28日（水）に開催した決算説明会にてご出席の皆様からいただいたご質問を記録したものです。理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

Q1. テープ製品の価格改定を実施するアナウンスがあったが、現時点での進捗はどのくらいか？

A1. 主要原材料の高騰、副資材・物流費の断続的な上昇といった、当社だけではなく業界全体の収益に関わる事情によることもあり、お取引先様からは概ね受け入れられています。先行実施となったクラフトテープは大部分のご了承をいただいております。またゼロテープ®・ナイスタック™他製品については、2019年1月からの実施に向けてお取引先様へのご説明と手続きを順次すすめております。

Q2. 7月以降に西日本の自然災害によるインバウンド需要の減少があったということだが、現時点でのロイヒつぼ膏™の足元の状況はどうなっているか？

A2. 10月はまだ鈍い状況でしたが、11月に入ってから少し回復が見られるようになってきています。ロイヒつぼ膏™につきましては、インバウンド需要動向と国内一般消費者向けの大型プロモーションの成果を合わせた進捗として、12月の状況を注視したいと考えております。

Q3. 現在策定しているという【NB100】の次の新中期計画では、事業拡大のためにオープンイノベーションの取組みを考えているか？

A3. これまで研究開発に係わる社外との取組みは受動的なものが大部分でした。次の新中期計画は現在策定中ですが、社外との取組み・協業を積極的に取り入れて参りたいと考えております。

Q4. 「ヘルスケアフィールドの大型販促」は当初の計画に入っていたか？

A4. ケアリーヴ™については上期に実施したゼロテープ®の発売70周年記念プロモーションと合わせて、当初から計画していたおりの実施になります。ロイヒつぼ膏™は当初から決定していたわけではありませんが、計画のなかで販売促進費の増額として見込んでおり、下期の追加施策として実施しております。